

市原ロータリークラブ 令和3年度
「地域社会貢献基金」支援事業

桜さんさん会の桜並木づくりと 芸術的オブジェの設置事業

紹 介

桜さんさん会

令和4年3月17日

プレゼンテーション目次

- 日時:令和4年 3月17日12時30分～
- 場 所 : 淡粧 会議室
- 紹介者 :桜さんさん会 代表 河内昌蔵
- 紹介資料:
 - 1.「養老桜とアートの小径プロジェクト」の概要
 - 2. 植樹場所／サイクリング・遊歩マップ
 - 3.「桜並木づくりと芸術的オブジェの設置事業」
 - 4. 経費使用実績

植樹場所サイクリング・遊歩マップ

養老川周辺の桜植樹事業 (桜さんさん会)



養老川・山田地区



「桜さんさん会」の活動概要

- **平成16年、佐久間市長の提案で「市民会議」が設けられ、市の総合計画の見直しが行われた。**この結果、「改訂市原市総合計画（2005～2015）」の市民まちづくり事業の提案書としてまとめられ、この中で「**養老川周辺の桜の植樹事業**」が提案された。まず養老川中流域に桜並木をつくり、その後**芸術家たちの協力を得て文化と芸術の里造りを行うもの。**
- **平成17年2月、当事業の実施団体として、「まちづくり桜植樹プロジェクト（桜さんさん会）」を設立。**
以降、地元関係者をはじめ、行政（市原市：河川課、環境管理課、NPOボランティア支援室、教育委員会、：千葉県市原土木事務所）や関係諸団体のご指導・ご支援を頂きながら事業を進めている。

「桜さんさん会」の活動概要

- 当面、養老川の上養老橋から大坪橋間の側道や周辺に桜並木等を整備し(約 2.2 kmの間)、既存の水辺公園・あじさいロード・フラワーロード・農業センターや名所等を遊歩道(サイクリングロード)で楽しく周遊できるようにする。
- これまでの桜並木の整備状況は次の通り。
合計 約 2.2 kmの間を整備済み。
 - ① 山田地区：約 800 m間
 - ② 大坪地区：約 550 m間
 - ③ 相川地区：約 400 m間
 - ④ 二日市場地区：約 450 m間
- 平成25年度以降、桜並木間に**芸術的オブジェの設置事業をスタート**し、現在、下記**32個のオブジェを設置**した。
 - ① 木製彫刻等：8体、
 - ② 陶器：6個、
 - ③ 石碑：8体
 - ④ 歌詞看板：5枚、
 - ⑤ 川船模型：1隻、
 - ⑥ その他：4個

事業実施スケジュール(1 / 3)

月	活動内容
R3年 8月	<ul style="list-style-type: none"> ① 桜並木の維持管理・下草刈り(4回)等 ② 芸術的オブジェ設置事業計画案の作成 ③ オブジェ選定委員候補の選出 ④ 内外関係先との協議 ⑤ 檜垣委員長との打合せ
9月	<ul style="list-style-type: none"> ① 桜並木の維持管理・下草刈り(4回)等 ② オブジェ選定委員との下協議(委員会規約、規約、メンバー等) ③ オブジェの募集要領に関する関係先との協議 ④ ロータリー奉仕デー(9/26)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ① 桜並木の維持管理・下草刈り(4回)等 ② オブジェの募集要領に関する関係先との協議 ③ 第1回オブジェ選定委員会 ④ オブジェの募集 ⑤ 役員会 <p>河内会長 慢性硬膜下血腫 (硬膜と硬膜下腔の間に血液が貯まる病気)</p>
11月	<ul style="list-style-type: none"> ① 桜並木の維持管理・下草刈り(3回)等 ② プロジェクト会議 ③ オブジェの募集(関係者との打合せ)

事業実施スケジュール(2 / 3)

12月	<ul style="list-style-type: none">① 役員会② オブジェの募集締め切り③ オブジェ出展者への連絡・協議④ 第2回オブジェ選定委員会⑤ オブジェ設置の占有許可申請⑥ オブジェの製作・協議
R4年 1月	<ul style="list-style-type: none">① オブジェの製作・協議 <p>桜さんさん会 休眠状態</p>
2月	<ul style="list-style-type: none">① オブジェ設置の占有許可取得② プロジェクト会議③ オブジェの製作・協議④ オブジェの設置
3月	<ul style="list-style-type: none">① 桜並木の維持管理・下草刈り(3回)等② 役員会

事業実施スケジュール(3 / 3)

4月	<ul style="list-style-type: none">① 桜並木の維持管理・下草刈り(4回)等② 市原ロータリークラブへの活動報告
5月	<ul style="list-style-type: none">① 桜並木の維持管理・下草刈り(4回)等③ 活動報告書の作成

経費使用実績(1 / 2)

収入の部

支出の部

科 目	金額 (円)	科 目	金額 (円)
(区分) 補助金		(区分) 会議費・会場費	59,725
(内訳・積算等) 市原ロータリークラブ	250,000	(内訳・積算等) 添付「経費使用実績詳細」中 (2) 会議費 の項による。	
(区分) 寄付金	485,706	(区分) 事業費合計	653,489
(内訳・積算等) 会員・団体会員 寄付		(内訳・積算等) ① オブジェ関連費用 添付「経費使用実績詳細」の (4)オブジェ関連費用の項による。	378,164
		②その他の事業費 添付「経費使用実績詳細」の (1)事業費の項による。	275,325

経費使用実績(2 / 2)

収入の部

支出の部

科 目	金額(円)	科 目	金額(円)
(区分)		(区分) 資料・消耗品費	22,492
(内訳・積算等)		(内訳・積算等) 添付「経費使用実績詳細」中 (3) 資料・消耗品費の項による。	
合 計	735,706	合 計	
		補助対象経費 合計	735,706

令和3年度 設置オブジェ大ニ日市場・山田地区)



77

兄弟の笑い声



令和3年度 設置オブジェ



桜さんさん会の石碑
二日市場地区へ設置

ベンチセット 山田地区
へ設置



オブジェ（相川地区）



波立ち

はぐくむ



オブジェ（二日市場地区）

養老川の未来を見つめて



再生

歌詞看板（相川地区）



養老桜

永遠（とわ）に母なる 養老川よ
先人様の 血汗川
次の時代に 繋ぎたい
千人を願いの 養老桜
里を愛する つわもの達の
熱い思いの 絆花

見えない心 見えない苦勞
いつかはきこ 実るもの
人のこゝろに 応えたい
感謝笑顔の 養老桜
川は知ってる すべてのことを
映えて穏やか 水鏡

根強い花は すぐには咲かぬ
雨風耐えて 春を待つ
人の思い出 抱きしめて
深く根おろす 養老桜
風を彩る 田園（みどり）に抱かれ
夢と希望の 晴れ姿

二〇二二年四月三十日

作詩 藤野美代

まちづくり桜植樹プロジェクト（桜さんさん会）

オブジェ (山田地区)



はばたき



ナイスキャッチ

オブジェ（山田地区）

無財の七施



オブジェ（大坪地区）

養老川に立つトラ



養老川 川船(二日市場地区)



養老川沿いでの活動



910mm

アルポリ+アルミ枠
+インクジェット+足
(2本)
50×50

片面

アルミ角パイプ
2t×50×50

1800

600

養老川周辺の桜植樹(第七期)

平成二十三年、光風台小学校六年生の生徒(内山勝斗さん)が授業の中で、養老川沿いに植えられた桜の苗木が、将来大きく成長し、その下で満開の桜を眺めながら楽しんでいる様子を想像して詠んだ歌です。

養老の桜の木の下 笑顔咲き

当植樹は、平成十六年度の市民会議で提案されたまちづくりテーマで、ふるさとの美しい養老川と緑豊かな田園地帯を背景に、桜並木を中心とした特徴ある景観づくりと憩いの地域づくりを目指しています。

平成十七年二月、植樹推進のため、ボランティア団体「桜さんさん会」を結成し、地元の方々を始め、千葉県市原土木事務所、市原市及び各種団体のご協力、ご支援を頂きながら作業を進めています。

平成二十三年十一月八日

まちづくり桜植樹プロジェクト(桜さんさん会)

【賛成団体、支援団体(養老・支連関)】
・(株)市原市観光協会
・市原市川を美しくする会
・市原市道園緑化協同組合
・その他、地元病院、企業等の十八団体

600mm

良い施設で

二人で過ごさす記念に

二〇一〇年七月二日

澤澤 久男・教子
(桜さんさん会)

さくら苗

朱寿に植えて記念する

大正十一年一月二十二日

千田盛栄子
(桜さんさん会)

ひまわり関係者一同の

御健勝を記念します

平成二十二年十一月十四日

清正 正二
(桜さんさん会)

さくら花

川面にうつるしだれかな

大正十一年一月二十二日

千田盛栄子
(桜さんさん会)

我が思い桜に託し 永遠に

平成二十二年十一月

清正 正二
(桜さんさん会)

満月の桜は木を夢に見て

妻と歩まん 古希の秋

二〇一〇年十一月十四日

河内 昂藏・陽子
(桜さんさん会)

向日葵入居一〇年 本年奉寿

平成二十二年十月十二日

奥田 利行
(桜さんさん会)

梨沙さん 智哉くん

二〇三〇年目指し

大きく羽はたけ!!!

二〇一〇年十一月十八日

浩二・景子
(桜さんさん会)

二〇〇七年九月三日

浪速から此処に来た

平成二十二年十一月十四日

村信 俊明
(桜さんさん会)

詩音理・十歳

未智代・九ヶ月を記念し

平成二十二年十一月二日

高島 弘
(桜さんさん会)

ひ孫達の幸を願って

平成二十二年十月三十日

高橋 恵美子
(桜さんさん会)

さくら、隆成、陽大、皓聖

まき達の健康と成長を願って

二〇一〇年十一月十八日

中川 和孝・とく
(桜さんさん会)

私の新たな人生旅路は

桜咲く国で

二〇一〇年九月二〇日

藤野 美代 (Y.M.O.S.)
(桜さんさん会)

詩音理・十歳

未智代・九ヶ月を記念し

平成二十二年十一月二日

高島 弘
(桜さんさん会)



事業説明看板・桜の里親看板 設置状況



文化と芸術の里づくりを目指して

文化と芸術の里づくりを目指して ～養老桜とアートの小径プロジェクト～



「満開の 桜並木を 夢に見て 妻と歩まん 古希の秋」
会長の河内氏が桜の銘板につづった詩。
すべての桜にそれぞれの想いが見つられる。
時を経ても人の想いは同じで、桜並木の遡歩道沿いで、
世代や時空を超えたコミュニケーションが行われている。



養老川と桜

【主な活動実績】
平成17年7月 まちづくり桜植樹プロジェクト「桜さんさん会」設立
平成24年 約200本の桜の植樹が終了
平成26年 芸術的オブジェの設置を開始
【参考URL】 <http://www.gnicities.jp/sakuranomatsukai/>

桜さんさん会

文化と芸術の里づくり

きっかけは市原市による市民会議だった。市民主導によるまちづくりを計画する中で考えたのが、養老川を桜並木でいっぱいにし、芸術的オブジェを並べる「養老桜とアートの小径(こみち)プロジェクト」である。

時空を超えたコミュニケーション

植樹をする際には里親を募集し、1本1本全ての桜に里親の想いをつづった銘板を取り付けた。また、小学生が養老川や桜並木の美しさを持った詩を紹介する看板を道沿いに設置した。

訪れる人々が銘板や詩を読むことで世代や時空を超えたコミュニケーションが生まれる。

目録できる仲間が増えていった

活動を継続していく中で、活動だけでなく私的なことも相談でき、個人的な協力も合えるような仲間が出来ていった。これは何よりの財産だ。

人生総仕上げの活動

スタートして満12年、人生総仕上げの活動として、良い町づくりに共感した多くの仲間とやりがいを感じ活動している。

思い描いた景色が出来るまで、20年、30年かかるプロジェクト。ボランティアとしての活動は少々キツイ面もあるが、地域づくりは世代を繋いで継続することが極めて重要。詩を詠った子供たちや里親の子供たちに繋いで、活動を継続していきたい。

11

想い

軌跡



「養老の未来をみつめて」

道沿い4には地域に縁のある芸術家が製作したオブジェを並べている。



～あたたかき 桜の季節に つつまれて

笑顔こぼれる養老の里～
小学生が詠んだ詩の紹介する看板
この看板は7か所に設置されている。



桜さんさん会の人たち

毎春、桜を植えた河川沿いで
お花見会を開催

令和4年2月10日

市原ロータリークラブ 会長 巖

まちづくり桜植樹プロジェクト(桜さんさん会)

代表 河内昌茂

(住所: 〒290-0255 市原市光風台5-2-6-6)

(TEL: 090-2223-0268)

桜さんさん会の当面の課題と対応策への協力お願いについて

拝啓、時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

当会の活動は、今年で18年目となりますが、皆様方のご指導とご協力により、これまで順調な活動が出来たように思います。

お陰様で、地元の方々や行政の関係者から高い評価を頂いていますが、偏に関係者のお陰だと感謝しております。

しかしながら、近年メンバーの高齢化や体調不良等により、活動への参加者が少なくなり、活動に支障が生じるようになって来ました。数年前より幾度も対策会議や対応策を行ってまいりましたが、いまだに状況を改善することができていない状態です。

これにより、大変残念ですが、“桜さんさん会は 当面休眠状態に為ざるを得ないことになりました”

現在、行政や賛助団体等へ当事業の対処方法の検討をお願いしている所ですが、地元町会や個人からもご協力を頂き、当会が実施していたまちづくり(観光名所づくり)を続けて頂けたらと願っています。当会としては、可能な限り協力させて頂く予定です。

貴団体の益々のご発展をお祈りしております。 敬具

<桜さんさん会の概要>

平成17年度、市民会議での協議結果スタートしました“まちづくり桜植樹プロジェクト”は、お陰様を待ちまして、養老川の上養老橋から大坪橋にわたる東側土平沿い合計約2.2km間に、桜、つつじ、紫陽花等を植樹し、樹木管理と下草刈りを毎月実施しております。

平成25年度からは、毎年桜並木の間に芸術的オブジェを設置しており(合計29個)、地元の方々から大変喜ばれています。

特に平成30年度、関東地区を代表して「手づくり郷土賞」(国土交通大臣表彰)を受賞し、昨年4月には、第15回みどりの式典で緑化推進運動功労者として、内閣総理大臣賞を受賞しております。

偏に行政をはじめ、皆様方や会員各位の弛まぬご協力・ご支援のお陰であり、感謝しております。

これまで比較的順調な運営だっただけに、高齢化や病で一挙にこのような事態に至るとは夢にも思わず、動転している所です。

活動場所は、添付「植樹場所/サイクリング・散歩マップ(養老川沿いの赤丸印部)」です。

- 令和4年2月
メンバーの高齢化、体調不良
により、後任者が決まらず
当面の間、休眠状態
中
- 対応策
行政や地元町会などへ
今後の対応について依頼